

一般社団法人 千葉県社会福祉士会

2020 年度 第 4 回理事会議事録

1. 開催日時 2020 年 8 月 9 日 (日) 10:04~12:06

2. 会 場 千葉県社会福祉研修センター大研修室および Zoom 会議

3. 出席者 研修室参集理事 15 名、監事 2 名、相談役 1 名

会長 渋沢

副会長 山口(利)、宮本、古澤

事務局長 横林

事務局次長 堀江、及川

会員理事 (総務委員会 企画部会) 秦野

(総合相談委員会) 谷口、前田

(ばあとなあ委員会) 四ノ宮

(司法福祉委員会) 宮下

(災害対策委員会) 安藤

監事 山口(定)、市原

外部理事 若林、葛田

相談役 岡本(武)

欠席 山下

Zoom による参加 理事 4 名、相談役 1 名

会員理事 (研修委員会) 長嶋

(災害対策委員会) 服部

外部理事 山田、片山

相談役 常陸谷

敬称略

4. 議 題

(1) 会長と三役会からの報告

(2) 各委員会報告事項に対する質疑

(事前資料によりご確認ください)

(3) 議事

① Zoom アカウント取得及び管理について

② SSW(スクールソーシャルワーク)担当者意見交換会参加者推薦について

③ 自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会について

5. 議事録

○ 出席者の確認

事務局次長より、現在、理事会 (Zoom 併用開催)、研修センター大研修室参考出席者 15 名、Zoom により参加 4 名 定款第 34 条により定足数に達しており、本理事会は成立する  
また、Web 会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認されて、議案の審議に入った

**事務局次長 :**

会長より開会挨拶をお願いする 三役会は会長、副会長、事務局長、事務局次長で構成されている

○ 会長から開会挨拶

- ・ 今回は初めて、Zoom を併用した理事会の開催となる
- ・ メールで相談役の理事会での位置づけについてご質問いただいた 相談役は、会の運営全般にご示唆いただく立場であり、必要に応じて理事会や総会に参加いただきたいと考える
- ・ 本日は議事が多いが、みなさま審議を宜しくお願ひする

**事務局次長 :**

初回のご出席となる、精神保健福祉士協会の片山理事よりご挨拶をお願いする

**精神保健福祉士協会理事 :**

近藤から引継ぎ、今年度より外部理事として参加させていただく よろしくお願ひする

○ 三役会報告

**会長 :**

- ・ 8月3日新体制での三役会をZoom 併用により開催し、本日議論する内容について打ち合わせを行った 後程、議事の中で報告する

○ 各委員会報告事項に対する質疑

各委員会資料の通り

**事務局次長 :**

各委員会より報告をお願いする なお、質疑は全ての委員会報告の後、一括して行う

**(総務委員会広報部会)**

**説明 : 広報部会長**

- ・ 次回の広報誌発行時期を事前配付資料では 11 月下旬としていたが、12 月末に変更する
- ・ 特集記事は、先日報道された障害者が自治会との関係を苦に自殺した件に関連する誌面座談会を企画しており、本日審議する「自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会」も絡めた内容を考えている
- ・ 会員外理事 5 名に記事執筆をお願いしたい 後日メールで依頼するが、内容は「推薦母体の団体紹介」と「社会福祉士会に期待すること」を予定している

## (総務委員会企画部会)

### 説明：企画部会長

- ・ 引き継ぎや地域集会の状況を、当日配付資料のとおり報告する
- ・ 今年度の地域集会の開催方法について世話人から懸念も寄せられている 会の ICT プロジェクトが立ち上がり、日本会・他県では Zoom での研修が始まっていること、前述の福祉道場も盛会だったことを踏まえ、今後も開催方法を検討していく

## (研修委員会)

### 説明：研修委員長

- ・ 今年度は主な研修が中止になっているため、委員会内に（仮称）ICT プロジェクトチームを組織し、今後の研修のあり方について検討することとした
- ・ 11 月 21 日～22 日の実習指導者養成講座は感染症対策を施したうえで集合研修として開催する方向で、リーダーを中心に検討を進めている

## (ぱあとなあ委員会)

### 説明：ぱあとなあ委員長

- ・ 7 月 12 日のレベルアップ研修は 23 名の参加者で、感染症対策を取って集合形式で開催した 試行的に Zoom も併用し、一部マイクトラブルもあったが開催可能であることは確認できた
- ・ ただし集合とオンラインの併用は、機材、通信環境、人員配置等課題もある 会としての体制づくりが望まれる
- ・ 8 月 1 日に予定していた必須登録員研修は参加者 100 名以上のため、感染症対策が取れないと判断し中止した 受講人数の少ない研修は実施方向で準備する
- ・ ささえあい制度の上半期分申請件数は 3 件であった

## (司法福祉委員会)

### 説明：司法福祉委員長

- ・ 7 月 11 日に主要委員が参集し、今年度の役割分担の確認を行った
- ・ 8 月 22 日にホテルリブマックス千葉で委員会を開催し、認定社会福祉士認証・認定機構の認証を受けている研修プログラムの更新、今年度の勉強会やその他研修会をどう開催するか、また、組織運営上の課題について話し合う予定

## (災害対策委員会)

### 説明：災害対策委員長

- ・ 7 月 3 日から続く大雨で西日本及び九州各県で甚大な被害が出たほか、7 月 25 日埼玉県三郷市で発生した竜巻、7 月 28 日東北地方での大雨により被害が拡大し、全国 34 県で被害が確認されている 人的被害 114 名（死者 82 名、行方不明 4 名含む）、住宅被害は 17,551 棟（うち全壊 270 棟）※7 月 31 日現在
- ・ 災害ボランティアの募集は、いずれも県内・市町村内に限っている
- ・ 千葉県災害福祉支援チーム（DWAT）に関する動きは事前配付資料のとおり 本日協定書のカラーコピーを持参したので回覧する
- ・ 8 月 8 日災害対策委員会全体ミーティングを Zoom 併用で開催し、DWAT の説明、千

葉県災害ボランティアセンター連絡会の報告、災害支援金について話し合った

- ・ 日本会で 7 月豪雨災害に対する支援金を募っている 当会の HP に日本会の HP リンクを掲載しているが、当会として支援金を拠出することについて本日審議いただきたい
- ・ 10 月 25 日の災害対策研修会は、昨今の新型コロナウイルス感染者の増加を鑑み、中止とした

**(松戸事業)**

**説明：担当理事**

- ・ 7 月 30 日事業の補助制度変更に伴い、会長・事務局長と担当理事で市の担当課を訪問した 現時点では市の方向性は示されていないが、来年度の予算編成が始まる 9 月頃に再度協議見込み

**(総合相談委員会)**

**説明：総合相談委員長**

- ・ 今年度の千葉県高齢者虐待防止対策研修は、資料のとおり開催回数が 3 回から 2 回となるため、当初予算より収入減少の見込み
- ・ 9 月初任者研修は Zoom でのオンライン開催を予定しているが、通信環境や機器が整わない自治体向けに YouTube での配信も検討している 8 月 21 日までに県と契約締結予定

**(ICT プロジェクト)**

**説明：ICT プロジェクト責任者**

- ・ 資料のとおり、委員会での検討経過を報告する
- ・ Zoom アカウントを 2 つ取得する予定だが、アカウントの使い分け案として配付資料のとおり 2 案がある ご意見をいただきたい

**(事務局)**

**説明：事務局長**

- ・ 本日決議・承認を求める事項は資料のとおり 3 つ  
①委員会規程 4-12-3 により、別紙添付した各委員会委員名簿の確認と承認  
②自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会について  
③スクールソーシャルワーク担当者意見交換会参加者推薦について
- ・ 活動報告、各種委員会等委員推薦、講師派遣実績は資料のとおりである
- ・ 7 月末現在の正会員数 1,503 名、うち新入会は 12 名であった

**事務局次長：**

各委員会報告に対する質疑を行う

**(災害支援金の支出について)**

**説明：事務局長**

- ・ 昨年度の本県台風被害の際、日本会より被災地活動支援金 10 万円をいただいた 被災地で活動する人が柔軟に使える貴重な資金として役に立ったと感じる

- 平成 30 年度に北海道で地震被害があった際、当会より支援金 1 万円を拠出した実績がある 予算的には理事会の承認によって拠出可能である ご審議のうえ承認いただきたい

**質疑 :**

- 昨年度日本会から 10 万円を受領した経緯もあり、今後、頻繁に災害が起こる可能性を踏まえて、数万円程度の範囲であれば拠出可能と考える
- 今年度予算収支が赤字であり、更に新型コロナウイルスの影響で収支状況が変わってきている 災害支援金も ICT プロジェクトも予算立てしていないものであり、各委員会で予算を見直したうえで議論してはどうか
- 従来から会員が個人として災害ボランティアに参加・活動してきたが、DWAT を締結したことによって、例えば身分保障や事故時の補償等の面で変化・影響があるのか 個人の活動と会を通じた活動をどのように棲み分けしていくのか

**説明：災害対策委員長**

- 事故等の補償という面では、災害ボランティアを行う際は原則としてボランティア活動保険に加入のうえで活動するよう、昨年度から促している
- DWAT に加入はしたが、災害時の具体的な流れや詳細の取り決めは定まっていない 災害対策委員会としては、会員個人が自由意志で行う災害ボランティアを妨げる考えはなく、DWAT の仕組みを案内したうえで、会を通じて赴くか個人で活動するかを会員自身の自由意志で選択していただく

**会長 :**

- 災害支援金を支出するかどうかに絞って決議をしてもよいのでは

**説明：事務局長**

- 当初予算に計上している災害活動時補助金の予算内で 1 万円の拠出は可能である

**事務局次長 :**

「令和 2 年 7 月豪雨に対する被災地活動支援金 1 万円の拠出」について、賛成の方挙手をお願いする

→賛成多数 これにより「令和 2 年 7 月豪雨に対する被災地活動支援金 1 万円の拠出」は承認された

**事務局次長 :**

ご意見のあった予算収支の見直しについては、各委員会内で議論していただきたい その他補足説明や質疑がなければ議題（3）に入る

**議事**

- ① Zoom アカウント取得及び管理について

**説明：事務局長**

- ICT プロジェクト責任者より説明があったように、当会として 2 つの Zoom アカウントを取得する予定で、決済用のクレジットカードを作成中である 11 月補正予算で ICT プロジェクトの予算編成を行う予定だが、アカウントの取得に係る費用を先行支出することについて、ご審議お願いする
- 日本会では既に 4 つの Zoom アカウントを取得しているが、会議室とアカウントの取り合いが生じており、アカウントの管理方法が課題である

：会長

- ・ アカウントの管理は Google カレンダーを使用してはどうか Google カレンダーを使用できない委員会はあるか

質疑：

- ・ 個人の Google アカウントでアクセスするのか、委員会としてアカウントを作成するのか

事務局次長：

Zoom アカウントの管理については、Google アカウントの使用も含め引き続き ICT プロジェクトで検討することとし、「Zoom アカウント 2 つの取得」について、賛成の方挙手をお願いする

→賛成多数 これにより「Zoom アカウント 2 つの取得」は承認された

② SSW (スクールソーシャルワーク) 担当者意見交換会参加者推薦について

説明：事務局長

- ・ 昨年度は会長が参加したが、今年度は SSW の経験がある秦野理事を推薦したい

事務局次長：

「SSW 担当者意見交換会参加者として秦野隆治理事を推薦する」について、賛成の方挙手をお願いする

→賛成多数 これにより「SSW 担当者意見交換会参加者として秦野隆治理事を推薦する」は承認された

③ 自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会について

説明：会長

- ・ 本年 10 月から千葉市で「基幹相談支援センター」が設置されることになり、事業を受託した法人の理事長（当会会員）が資料の内容の研修会を企画した 同理事長より、多くの方が参加できるよう当会主催研修会として開催できないかと提案があった
- ・ 三役会では、企画部会が担当し今年度開催できなかった県民講座の代替として開催してはどうかと意見があった
- ・ 当会の主催事業とするかどうか、また、予算を支出するかどうかについてご審議いただきたい

：総務委員長

- ・ 企画部会のメリットとしては地域集会が開催できていない中で代替事業になりうるまた、各地域で基幹相談支援センターと世話人・社会福祉士がつながる契機になる Zoom 開催の場所と設備は企画した法人が提供可能と聞いている
- ・ 課題は、講師の都合で 9 月 29 日（火）に日程が決まっており、平日日中で会員の参加が難しいこと 広報部会では、研修会と別日程で意見交換会を開催するほか、動画配信してはどうかと意見があった 次回広報誌の特集記事にも取り入れる予定

質疑：

- ・ 趣旨には賛成だが検討を要する点がある ①講師謝礼の 5 万円は当会規程上妥当か、②当会主催なのに申込先が別団体であり個人情報管理の責任が不明確ではないか、③参加費が無料でよいのか

説明：会長

- ・ ①は当会講師料等支払い規程に準じて支出する
- ・ ②申込先を当会事務局にすることにしてはどうか
- ・ ③県民公開講座に準じた扱いとし、自治体の参加も想定し無料としたい

**事務局 :**

- ・ 事務局が申込先になること自体は可能だが、取りまとめた申込者データを企画した法人に提供するならば、個人情報の問題は残るのではないか

**質疑 :**

- ・ イベント主催団体と申込団体が異なる場合は、個人情報保護の特約条項付き業務委託契約を締結する必要がある 個人的な信頼関係では納得できない
- ・ 申込先は当会事務局とし、企画した法人に名簿は提供せず、参加人数の通知だけよいのでは
- ・ 名簿を提供する必要はないと考える 提供する場合は契約の締結が必要である

**事務局次長 :**

- ・ 主催する場合は運営も当会で行うもので個人情報の問題は生じない

**会長 :**

- ・ 申込先は当会事務局とする
- ・ 企画した法人の理事長は、あくまで当会の会員として会が主催する研修会の企画運営に関わっていただく
- ・ 講師謝礼は当会規程に基づき支払う 交通費は講師に来県いただく場合は別途支給の可能性があることを了承いただきたい

**事務局次長 :**

上記会長の説明を踏まえたうえで、「自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会を当会主催事業とする」について、賛成の方挙手をお願いする

→賛成多数 これにより「自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会を当会主催事業とする」は承認された

**事務局次長 :**

申込先を当会とし、講師謝礼として3時間3万円を支出することについてご意見をいただきたい

**意見 :**

- ・ 主催するならZoomアカウントや設備も当会自前で行うべきではないか
- ・ 当日の録画の著作権も取得し、今後の活用も図ってはどうか

**会長 :**

- ・ 当会Zoomアカウントの手配が間に合うかは不明だが、企画した法人の設備を頼らずに開催する
- ・ 録画は講師の意向もあるため確約できないが、可能となるよう協議していく
- ・ 8月半ばに講師を含めて打ち合わせを行う予定

**事務局次長 :**

ご意見を踏まえ、先ほどの決議に基づき当会主催事業として進めていく

**説明：事務局長**

委員会規程 4-12-3 「委員は、委員長が選任し、理事会の承認を経て、会長が委嘱する」により、各委員会委員について名簿を添付報告する 各委員へ委嘱状発行送付にあたりご

承認お願いしたい

事務局次長：

総務委員会企画部会委員名簿を確認しご承認いただける方挙手をお願いする→全員承認

総務委員会企画部会委員名簿に前田理事を追加したうえで、ご承認いただける方挙手をお願いする→全員承認

総合相談委員会委員名簿を確認しご承認いただける方挙手をお願いする→全員承認

研修委員会研修啓発部会委員名簿を確認しご承認いただける方挙手をお願いする→全員承認

ぱあとなあ委員会委員名簿を確認しご承認いただける方挙手をお願いする→全員承認

司法福祉委員会委員名簿を確認しご承認いただける方挙手をお願いする→全員承認

災害対策委員会委員名簿を確認しご承認いただける方挙手をお願いする→全員承認

以上、委員会委員承認いただいた 委嘱状発行送付となる

(事務局より)

説明：事務局長

- ・ 災害時等緊急連絡を円滑にするため、事務局からメール送信する際に理事・相談役・監事の範囲内でメールアドレスを公開することについて、承認いただける方挙手をお願いする→全員承認
- ・ 11月に各委員会来年度予算ヒアリングを行う それまでに各委員会で中止した事業を踏まえて補正予算の作成を依頼する
- ・ 来年度の事業計画・予算は、新しい生活様式を踏まえて研修等企画し、9月末までに予算把握シートと事業計画を提出していただきたい
- ・ 事業計画の様式の見直しを検討している 新様式案を追加資料で配布した

：事務局員

- ・ 新様式案のポイントは、委員会毎または部会毎に1P～2Pにまとめ、一般会員や他の委員会にも理解しやすいよう簡潔に記述すること また、予算や重点事業内容との関連を明確にすることである 素案なのでご意見をいただきたい

会長：

- ・ 重点事業内容は、従来通り各委員会から重点的に取り組みたいことを提案していただき、それを取りまとめて作成したい

事務局次長：

ご意見がなければ、新様式で作成依頼させていただく

議事は以上となるが、他に何かあるか

(研修の実施について)

ぱあとなあ委員長：

- ・ 緊急事態宣言を受けて6月末までの当会の研修は全て中止したが、ぱあとなあ委員会では、感染対策を施したうえで参加人数を勘案し集合研修を実施していく考えだ

研修委員長：

- ・ 研修委員会は11月に集合研修実施を決定している 来年度の基礎研修は必ず開催しなければならない 会として、研修事業のある他の委員会とも足並みをそろえて進めていきたい

**事務局長：**

- ・ 感染者が増加している状況を考えると、当面はこの状況が続く オンライン受講でない方には動画配信で対応するなど、非対面形式で研修を提供できる体制をつくって欲しい

**会長：**

- ・ 実際に Zoom で研修受講や会議参加ができない事例はあったか

**質疑：**

- ・ 先日、ばあとなあの研修では試行的に 5 名の方に Zoom 受講していただいた 本格的に Zoom 研修を開催するには、人員、設備ともに課題がある 現在は個人のパソコンやアカウントを使用しており、早急に会としての体制整備を望む
- ・ 前回の理事会の際、自宅 PC で Zoom の URL をクリックしてもアクセスできなかった Zoom アプリのダウンロードが完了せず、その後に迷惑メールが大量に届いた メーカーに問い合わせたらセキュリティの問題を指摘された
- ・ 応募メールの情報はないが、音声や画像が出ないというトラブルは想定される
- ・ ばあとなあ東京と神奈川では既に Zoom だけで研修を開催している グループワークの実施方法は試行錯誤しているようだ 実際にどの程度の方が Zoom 受講できないのか、グループワークの際の注意点等情報収集していきたい
- ・ 基礎研修受講者中 1 ~ 2 割が手書きでレポートを提出している 自宅に PC がない会員もあり、完全オンライン開催は難しいのではないか
- ・ 基礎研修の半分以上は演習であり、演習を受けないと修了認定されない 11 月の実習指導者研修にも演習がある Zoom の場合はどう実施すればよいか相談したい
- ・ 地域集会も Zoom 開催を検討しており、法人アカウントの取得は有難い リスク管理も会社等で実施していることを会として取り入れていくことと思う
- ・ 他県士会等の例を見ると、少なくとも受講料を徴収する場合は、事前に Zoom の接続テストを行ったうえで受付確定している
- ・ 9 月 29 日の研修会が一般に向けた初の Zoom 開催となるが、事務局として準備に不安があるので ICT プロジェクト等の力添えをお願いする

**ICT プロジェクト責任者：**

- ・ セキュリティに関しては、8 月末に IT 専門家に話を聞く予定
- ・ 国の機関でも省庁によって使用するシステムが異なっているので、情報を整理して検討していく もう少し時間をいただきたい

以上で、第 4 回理事会を終了する

12 : 06 閉会